

公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構

直江津港湾協会 汚染対策部会 講演会



上越タイムス 2022年8月25日4面掲載

講師

機構 漁場油濁被害対策専門家 上平明

■講演「流出油事故への対応」 及び水槽実験を実施

実施日時
令和4年8月22日（月）

講習会の内容
講演 流出油事故への対応
水槽実験

参加者 27名

本講習会では、当機構 専門家 上平明による、講演「流出油事故への対応（60分）」及び「水槽実験（30分）」あわせて約90分を実施し、公共団体及び企業等における油濁対策のご担当様と、万一の流出油事故に対応するための基礎・基本となる知識を確認しました。



直江津港湾協会
汚染対策部会

油流出時の対応学ぶ

実験も披露した上平さん。油の種類に応じた資機材の使い分けや、誤った使用で法律違反になる恐れも説明した



直江津港湾協会汚染対策部会(仲田紀夫部会長)は22日、上越市中央1のセンチュリーイカヤで海の環境、油流出に関する講演会を師に迎え、講演と実験

専門家の 上平さん 実験交え講演

開いた。公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機

を通過して油流出事故の対応を学んだ。上平さんは元海上保安庁職員。平成9年1月に発生したナホトカ号重油流出事故後に新潟へ派遣され、事後処理を担当。その後、海の汚染などに関する危

機管理組織を歴任している。上平さんは講演と実験で、粘性や毒性など油の種類と特徴、現場の風や波などの状況を把握し、油の特性や状況に合った防護と回収資機材を使用する大切さ、一時保管場所設置の必要性を説いた。油の状態は刻々と変わることから、初動対

第四北越銀 シェア6割超

6位に上越信金

業 企 業
内 内
バン 信
ク 金

東京商工リサーチ新潟支店は、県内企業2万9469社を対象に、メインバンク調査の結果をまとめ発表した。それによると、トップは第四北越銀行で、1万8041社がメー

ンバンクにしており、シェアは63・41%で全体の6割を超えた。前年調査より0・06ポイント低下したものの、依然6割超の高いシェアを維持していることが分かった。同行は全国ランキングでも12位

メディア掲載情報

2022/8/26
上越タイムス社「上越タイムス(2022年8月25日4面掲載)」で本講習会が「油流出時の対応学ぶ」として紹介されました



※ 上越タイムス社の許諾を得て掲載しており、上越タイムス社に無断で転載することは禁止します。